



のぞむ
望

富岡 勝則

皆さんこんにちは。

暑さ寒さも彼岸までと言われていますが、お彼岸を過ぎたとたん、気温がぐっと下がり過ごしやすくなりました。スポーツに最適な秋晴れの日が続いていましたが、10月7日の市民体育祭当日は、前夜から雨が降り続いていて、残念ながら中止にしなければならなくなりました。私は、さまざまな競技に参加する中で、家族とのふれあいはもちろん、地域の親睦をより一層深めていただきたいと思っていただけに、とても残念でした。来年は、素晴らしい秋空の下で、無事に開催できることを願っています。

さて、10月8日に、京都大学教授で同大学のiPS細胞研究所長の山中伸弥教授が、ノーベル医学生理学賞を受賞するという、とてもうれしい発表がありました。日本人のノーベル賞受賞は2年ぶり19人目で、同医学生理学賞の受賞は、利根川進・米マサチューセッツ工科大学教授に続き25年ぶり2人目の

快挙です。今回の受賞は、細胞に4種類の遺伝子を加えることによってできる、体のあらゆる組織や臓器に変化する能力を持つiPS細胞（人工多能性幹細胞）の作製に成功したことが評価されたもので、この技術を使えば、自分に移植するための臓器を拒絶反応が少ない自分の細胞で作る再生医療への応用が可能となるほか、難病の仕組みの解明や治療方法の開発も期待されています。現時点では、多くの課題があるようですが、一日も早く実用化され、さまざまな病気で苦しんでいる人々が、ひとりでも多く救われることを期待しています。

ところで、10月14日に行ったこども議会では、市内の小・中学校代表のこども議員の皆さんから、公園や通学路、環境問題など、普段感じていることや、疑問に思っていることをたくさん聞かせてもらいました。参加した皆さんは、身近な事柄だけでなく、世の中のさまざまな事柄に関心を持っていて、とても頼もしく感じました。私は、少しでも快適に学習できるよう、小・中学校のトイレを改修したり、全教室にエアコンを設置するなど、学習環境の整備を進めてきましたので、もっと勉強に集中してもらい、いつか朝霞市から、ノーベル賞を受賞するような人が出てくれるとうれしいですね。

では、また。

朝霞市は 男女平等を進めています

男女の間で考え方や意見が違ふとき、そこにはそれぞれの「言い分」があることも。お互いが相手の目線で考えることができたならよりよい関係が築けるのでは…そんな思いをこめて、このコラムではさまざまなライフステージでの男女の言い分を、男女平等推進事業企画・運営協力員が身近にいる男女にインタビューして紹介します。

今回のテーマは、「介護観からみる息子・婿の言い分」です。

男性の介護者は、女性に比べてまだまだ少ないですが、息子、婿、夫の立場で介護をしている方にお話を伺ってみました。

まずは、「介護が始まって生活の上で変わったことは？」

「介護サービスを利用するようになり楽になった」「仕事もやらなければならないという立場で、外部サービスを利用することは、共倒れにならないために不可欠」などの声が聞かれました。これは女性介護者からも同じことをよく耳にします。また、介護歴が長い男性からは「約30年前に親の介護が始まったが当時は男がスーパーで買い物なんてしてなくてジロジロ見られてとても嫌だった」など。さらに話の中では

～一緒に考えていこうよ⑦～

「慣れない料理で一生懸命作ったものを認知症の本人に『美味しくない』と言われて、腹を立ててしまった」や、「認知症は病気、とわかっていても怒ってしまうことに罪悪感を感じる」という心の内も聞かれました。

続いて、「毎日の介護を続けられるために何か工夫していることは？」

「手を抜いても大丈夫なことに命に関わりのあることを見極めてメリハリつけて適当に力を抜くこと」というのが複数の方からの回答でした。また、「男は愚痴はあまり言わないと思う。『助けて』とも言わない。だからこそ行政などからどんどん介入して欲しい」や、「義務と思えば悩んでいったって仕方ないこと。苦労と思えばどんどん苦労になってしまう。楽しくやるしかない」という意見も。

話を聞く中で、男性の介護者は「弱音を吐かないように」「男は強くあるべきだ」という思いを持っているような印象を受けました。弱音を吐くことに抵抗を感じるかもしれない男性介護者には、周囲の積極的な気づかいや支えが大きな助けになるかもしれませんね。

（次回のテーマは

「介護観からみる娘・嫁の言い分」です。）

*このコラムは、「朝霞市男女平等推進事業企画・運営協力員」との協働により掲載しています。

問／人権庶務課 内2255 ☎463-2697

ひとの推移

人口	13万1,618人（+ 29人）	世帯数	5万9,077世帯
男	6万7,088人（+ 29人）		（+ 12世帯）
女	6万4,530人（ 0人）	平成24年10月1日現在（ ）内は前月比	